

チェルノブイリの原発事故から、七年が経とうとしています。室賀昭子さんの報告には、三日間の楽しい滞在の中にも疲れやすく、いつも健康に気づかっつていなければならぬ子どもたちの日常が推察され、きれいな空気の中でのびのびと息をさせたい、と願って送りだした母親たちの気持ちに胸が痛みます。

本文中のカット「マトリョーシカ」の絵は、播本さんのお嬢さんがスケッチしたもので、上のロシア文字は、オクサナの手紙に書かれていた「こんにちは」という文字です。病に負けず、明るく何にでも興味をもつ子どもたちに、私たち大人がはげまされているのかもしれない。

*

昨秋、上野の国立科学博物館で催された「楼蘭王国と悠久の美女」展を、娘と一緒に見てきました。平日の午前中というのに、大変な盛況で、人気の高さがうかがわれます。

娘のお目あては、もちろん美女のミイ

ラ。湿度のない、また、人を寄せつけない広大な砂漠が要塞となって、まぼろしの楼蘭王国を守り続けていたのでしょう。何もかもドライフラワーのように永久に生きつづける美しさを持っています。コンピュータグラフィックの技術により、美女は甦り、大きな瞳をパッチリとあげました。

数多い展示品の中で、私が一番興味深く思えたものは、衣服や布でした。土器や道具類がいかにも「出土品」という感じがするのに比べ、絨緞や織物、ズボンの裾を飾るみごとな刺繡は、現代のものと同じでも技術的にもデザイン的にも決して劣らぬ、いえ、変わらぬと言った方が良いでしょう。歴史を感じさせません。

細かい刺繡は油頭あぶらごしらやフランス刺繡と同じ美しさを持ち、羊毛を使った厚みのある敷物は、中国の段通やペルシア絨緞と少しも変わりありません。何千年もの時間が、人間の生活の歴史にとって、とても短く感じられました。

(K)

幼児の教育

第九十二巻 第二号

(一九九三年二月号)

定価四五〇円(本体四三七円)

平成五年二月一日 発行

編集兼発行人 本田和子

発行所 日本幼稚園協会

東京都文京区大塚二一ー一

お茶の水女子大学附属幼稚園内

印刷所 図書印刷株式会社

東京都港区三田五ー一二ー一

発売所 株式会社 フレーベル館

東京都千代田区神田小川町三一ー一

振替口座 東京九一ー一九六四〇

電話〇三三三一九二七七七八一

●本誌御購読の御注文は発売所フレーベル館にお願いいたします

●万一、落丁・乱丁などがございましたら、おとりかえいたします。